

2022年9月14日
下地島空港活性化協議会

「下地島空港活性化協議会」を開催しました
～羽田発着枠政策コンテストの評価期間が下半期に突入、地域×航空会社の取組を一層推進します～

下地島空港活性化協議会(会長:座喜味一幸)^(※1)は、9月14日(水)に第9回「下地島空港活性化協議会」を開催しましたので、お知らせします。

(※1) 本協議会は、宮古諸島の受入環境整備や下地島空港の航空路線プロモーションなど、下地島空港活性化に資する各種事業の立案並びに実施することを目的として、2020年8月に宮古島市、沖縄県、(一社)宮古島観光協会、宮古島商工会議所、下地島エアポートマネジメント株式会社にて立ち上げた組織です。

【第9回 下地島空港活性化協議会】における主な報告・協議事項】

① 下地島空港の現況

- ・ 引き続きコロナ禍にあるものの、2022年度4～8月、各月において月間利用者数を更新。特に2022年8月は開業以来過去最高となる月間利用者数38,000名超を記録。
- ・ 羽田線就航を契機に開始した航空貨物輸送事業も取扱量が堅調に推移、夏のマンゴーや冬の生鮮野菜など、宮古島の特産品を輸送。宮古島から首都圏への輸送力強化で、島の滞貨解消にも寄与。

② 羽田発着枠政策コンテスト関連

- ・ コンテスト提案内容の取り組み事項に関する今年度の進捗確認や評価・検証の実施。
- ・ 評価対象期間(3月27日から1年間)下半期突入にあたり、今年度の誘客及び受入環境整備に向けた各種施策の見直しや協議。

第9回協議会の冒頭、会長を務める宮古島市の座喜味市長より以下の通り挨拶がありました。

「羽田発着枠政策コンテストの評価期間もいよいよ来年3月までということで、最後の追い込みの時期になる。下地島＝羽田線は今や旅客・貨物両面において宮古島に欠かせない路線となっている。これからの時期、観光の閑散期に入るが、引き続き地域一丸となり宮古島の魅力や下地島空港の優位性の発信、受入環境整備や誘客に取り組むことで、多くの方にお越しいただき、羽田発着枠の獲得を目指したい。」

その後、下地島エアポートマネジメント株式会社より下地島空港利用状況について報告がありました。

- ・ 2022年夏期スケジュールの運航状況／冬期スケジュールの運航計画
- ・ 2022年度の利用者数推移
- ・ 今後の航空営業戦略、既存路線利用促進に向けたプロモーション活動
- ・ 航空貨物取扱状況

続いて、協議会メンバーにて以下内容が行われました。

- ・ 航空路線の維持・拡大に向けた施策について意見交換

- ・ 「島内2次交通の拡充のため宮古島市が実施する宮古島ループバスの取組み」や、「航空貨物の出荷量増に向けた県外での宮古島特産品の販路拡大の活動計画」等、羽田空港発着枠政策コンテストにおいて提案を行った取組みに係る進捗状況の共有。
- ・ 評価対象期間(2022年3月27日から約1年間)が下半期に突入するにあたり、より一層協議会の活動を推進すべく、今年度の誘客及び受入環境整備に向けた各種施策等の見直しや今後に向けた協議。

本協議会は、今後も官民一体となって下地島空港活性化に向けた施策を立案・推進し、宮古諸島のさらなる活性化を目指します。

第9回下地島空港活性化協議会の様子



■ 第9回「下地島空港活性化協議会」概要

日時： 2022年9月14日(水)11:00~11:50

場所： 宮古島市役所会議室

出席者： ●「下地島空港活性化協議会」会員

座喜味 一幸 宮古島市長(協議会会長)

大城 清剛 沖縄県文化観光スポーツ部 観光振興課長(協議会事務局)

根路銘 康文 宮古島商工会議所 副会頭

平山 茂治 (一社)宮古島観光協会 専務理事

伴野 賢太郎 下地島エアポートマネジメント株式会社 代表取締役社長